

自治体病院における薬剤管理の調査報告（2018年度）結果の概要

- ※1 各設問とも当該調査項目に回答が無かった場合はその項目の集計から除外している。
- ※2 そのため各調査項目の「総数」は一致しない。
- ※3 平均値や構成割合は、表示されている桁以下を四捨五入している。
- ※4 有無の回答で、一部でも「有り」の場合は「有」に含めている。
- ※5 結果表の有無の回答について、（ ）内は構成割合を表示している。
- ※6 複数回答の場合、回答数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超える。

1. 集計対象病院数

会員病院 868 病院のうち、回答があった 496 病院（57.1%）を集計対象とした。表 1-1 のとおり総数は 496 病院で 12 病院減少、表 1-2 のとおり 1 病院当たり許可病床数は 285 床で 16 床減少、実稼働病床は 269 床で 14 床減少している。

表 1-1 集計対象病院数

(単位:病院, 床)

	総数	一般病院							精神科 病院	療養型 病院	ケア ミックス
		総数	20~99	100~	200~	300~	400~	500~			
			(床)	199	299	399	499				
2018年度	496	446	89	90	62	76	52	77	31	7	12
2017年度	508	444	77	83	58	80	59	87	29	4	31
増減	-12	2	12	7	4	-4	-7	-10	2	3	-19

注:本調査では、療養型病院=全病床のうち80%以上が療養病床、ケアミックス=全病床のうち療養病床が50%以上80%未満とした。

表 1-2 1 病院当たり許可・実稼働病床数

(単位:床)

	許可病床	実稼働病床
	2018年度 (n=496)	285
2017年度 (n=508)	301	283
増減	-16	-14

2. 平均在院日数

表 2 のとおり平均在院日数は、全体の総数が 30.8 日で 1.1 日増加、一般病院が 19.9 日で 0.8 日増加、精神科病院が 149.2 日で 20.1 日減少、療養型病院が 126.1 日で 16.2 日減少、ケアミックスが 58.1 日で 15.2 日増加している。

表 2 平均在院日数

(単位:日)

	総数	一般病院							精神科 病院	療養型 病院	ケア ミックス
		総数	20~99	100~	200~	300~	400~	500~			
			(床)	199	299	399	499				
2018年度 (n=479)	30.8	19.9	25.2	28.9	21.1	15.5	12.7	12.4	149.2	126.1	58.1
2017年度 (n=492)	29.7	19.1	25.9	26.6	18.3	16.8	13.2	12.5	169.3	142.3	42.9
増減	1.1	0.8	-0.7	2.3	2.8	-1.3	-0.5	-0.1	-20.1	-16.2	15.2

3. 1 病院当たり薬剤部門の職員数・職種

表3のとおり1病院当たり薬剤部門の職員数は、常勤薬剤師数が11.9人で0.4人減少、非常勤薬剤師数が0.8人で増減なし、委託が1.3人で0.2人減少している。

表3 1病院当たり薬剤部門の職員数・職種

(単位:病院,人)

		2018年度		2017年度		増減	
		総数	常勤	総数	非常勤	総数	委託 (SPD等)
2018年度	薬剤師	492	11.9	483	0.8	468	1.3
	薬剤師以外	479	1.0	475	1.3		
2017年度	薬剤師	508	12.3	508	0.8	507	1.5
	薬剤師以外	500	0.9	499	1.3		
増減	薬剤師	-16	-0.4	-25	0.0	-39	-0.2
	薬剤師以外	-21	0.1	-24	0.0		

4. 院内コンピュータシステム、調剤機器の導入

表4-1のとおり院内コンピュータシステムの導入は、電子カルテが415病院(84.2%)で0.6ポイント増加、オーダーリングシステムが391病院(80.3%)で2.6ポイント増加、トレーサビリティのあるシステムが263病院(53.2%)で2.6ポイント増加している。

表4-2のとおり調剤機器の導入は、自動錠剤分包機が472病院(95.2%)で0.7ポイント増加で最も多く、次いでアンフルピッカーが185病院(37.3%)で4.0ポイント減少している。

表4-1 院内コンピュータシステムの導入

(単位:病院,%,ポイント)

	総数	電子カルテ		総数	オーダーリングシステム		総数	トレーサビリティのあるシステム*	
		有	(%)		有	(%)		有	(%)
2018年度	493	415	(84.2)	487	391	(80.3)	494	263	(53.2)
2017年度	507	424	(83.6)	498	387	(77.7)	500	253	(50.6)
増減	-14	-9	0.6	-11	4	2.6	-6	10	2.6

注: 入出庫の日時、品名、数量等が記録され、トレーサビリティのあるシステムあるいは機器を指す。

表4-2 調剤機器の導入

(単位:病院,%,ポイント)

	総数	自動錠剤分包機		総数	全自動調剤PTPシート払出装置		総数	アンフルピッカー		総数	水剤分注装置		総数	画像監査システム	
		有	(%)		有	(%)		有	(%)		有	(%)		有	(%)
2018年度	496	472	(95.2)	496	23	(4.6)	496	185	(37.3)	496	8	(1.6)	495	40	(8.1)
2017年度	507	479	(94.5)	506	23	(4.5)	506	209	(41.3)	506	9	(1.8)	506	39	(7.7)
増減	-11	-7	0.7	-10	0	0.1	-10	-24	-4.0	-10	-1	-0.2	-11	1	0.4
	総数	散薬調剤ロボット		総数	リアルタイム薬剤管理装置		総数	抗がん剤混合調整ロボット		総数	注射薬混注監査システム		総数	ピッキングサポート(調剤支援)システム	
		有	(%)		有	(%)		有	(%)		有	(%)		有	(%)
2018年度	496	11	(2.2)	496	19	(3.8)	496	2	(0.4)	495	75	(15.2)	495	96	(19.4)
2017年度	506	12	(2.4)	505	18	(3.6)	506	4	(0.8)	505	57	(11.3)	-	-	-
増減	-10	-1	-0.2	-9	1	0.2	-10	-2	-0.4	-10	18	3.9	-	-	-

注: ピッキングサポート(調剤支援)システムは、新規項目のため前年度との比較ができないことに留意。

5. 1 病院当たり採用薬品の品目数、1病院当たり採用薬品の購入金額

表 5-1 のとおり 1 病院当たり採用薬品の品目数は、全採用薬品が 1,167 品目で 15 品目（1.3%）減少、表 5-2 のとおり 1 病院当たり採用薬品の購入金額は、916,827 千円で 13,037 千円（1.4%）減少している。

表 5-1 1 病院当たり採用薬品の品目数

（単位：病院，品目）

	総数	全採用薬品			
		内用薬	注射薬	外用薬	
2018年度	487	1,167	562	391	215
2017年度	498	1,182	566	399	217
増減	-11	-15	-4	-8	-2

表 5-2 1 病院当たり採用薬品の購入金額

（単位：病院，千円）

	総数	購入金額
		2018年度
2017年度	484	929,864
増減	-25	-13,037

6. 採用薬品中の後発品の割合（品目数・数量・金額ベース）

採用薬品中の後発品の割合で最も多いのは、表 6-1 のとおり品目数ベースが 30%以上であり 156 病院（33.1%）で 8.8 ポイント増加、表 6-2 のとおり数量ベースが 80%以上であり 284 病院（68.3%）で 4.3 ポイント増加、表 6-3 のとおり金額ベースが 5%以上 10%未満であり 130 病院（35.5%）で 6.1 ポイント増加している。

表 6-1 採用薬品中の後発品の割合（品目数ベース）

（単位：病院，%，ポイント）

	総数	割合						
		5%未満	5%以上 10%未満	10%以上 15%未満	15%以上 20%未満	20%以上 25%未満	25%以上 30%未満	30%以上
2018年度	472	1 (0.2)	24 (5.1)	41 (8.7)	72 (15.3)	94 (19.9)	84 (17.8)	156 (33.1)
2017年度	481	7 (1.5)	28 (5.8)	49 (10.2)	97 (20.2)	94 (19.5)	89 (18.5)	117 (24.3)
増減	-9	-6 -1.3	-4 -0.7	-8 -1.5	-25 -4.9	0 0.4	-5 -0.7	39 8.8

表 6-2 採用薬品中の後発品の割合（数量ベース）

（単位：病院，%，ポイント）

	総数	割合								
		10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満	60%以上 70%未満	70%以上 80%未満	80%以上
2018年度	416	5 (1.2)	6 (1.4)	5 (1.2)	15 (3.6)	15 (3.6)	9 (2.2)	26 (6.3)	51 (12.3)	284 (68.3)
2017年度	419	7 (1.7)	7 (1.7)	8 (1.9)	16 (3.8)	8 (1.9)	13 (3.1)	26 (6.2)	66 (15.8)	268 (64.0)
増減	-3	-2 -0.5	-1 -0.3	-3 -0.7	-1 -0.2	7 1.7	-4 -0.9	0 0.1	-15 -3.5	16 4.3

表 6-3 採用薬品中の後発品の割合（金額ベース）

（単位：病院，%，ポイント）

	総数	割合						
		5%未満	5%以上 10%未満	10%以上 15%未満	15%以上 20%未満	20%以上 25%未満	25%以上 30%未満	30%以上
2018年度	366	24 (6.6)	130 (35.5)	100 (27.3)	40 (10.9)	17 (4.6)	7 (1.9)	48 (13.1)
2017年度	378	31 (8.2)	111 (29.4)	116 (30.7)	39 (10.3)	23 (6.1)	11 (2.9)	47 (12.4)
増減	-12	-7 -1.6	19 6.1	-16 -3.4	1 0.6	-6 -1.5	-4 -1.0	1 0.7

7. 1 病院 1 日当たり処方せん発行枚数、院外処方せん発行率

表 7 のとおり 1 病院 1 日当たりの院内処方せん発行枚数は、入院が 104 枚で 6 枚 (5.5%) 減少、外来が 49 枚で 3 枚 (5.8%) 減少している。院外処方せん発行枚数は、227 枚で 8 枚 (3.4%) 減少、院外処方せん発行率は、82.6%で 0.6 ポイント減少している。

表 7 1 病院 1 日当たり処方せん発行枚数、院外処方せん発行率

(単位:病院, 枚, %, ポイント)

	院内処方せん				総数	院外 処方せん	総数	院外処方 せん発行率
	総数	入院	総数	外来				
2018年度	479	104	481	49	479	227	480	82.6
2017年度	500	110	496	52	492	235	491	83.2
増減	-21	-6	-15	-3	-13	-8	-11	-0.6

8. 院外処方せん発行率 (階級別)

表 8 のとおり院外処方せん発行率で最も多いのは、90%以上であり 308 病院 (64.2%) で 1.5 ポイント増加している。

表 8 院外処方せん発行率

(単位:病院, %, ポイント)

	総数	階級別									
		10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満	60%以上 70%未満	70%以上 80%未満	80%以上 90%未満	90%以上
2018年度	480	38 (7.9)	5 (1.0)	1 (0.2)	4 (0.8)	3 (0.6)	4 (0.8)	7 (1.5)	20 (4.2)	90 (18.8)	308 (64.2)
2017年度	491	35 (7.1)	3 (0.6)	3 (0.6)	7 (1.4)	1 (0.2)	4 (0.8)	7 (1.4)	23 (4.7)	100 (20.4)	308 (62.7)
増減	-11	3 0.8	2 0.4	-2 -0.4	-3 -0.6	2 0.4	0 0.0	0 0.1	-3 -0.5	-10 -1.6	0 1.5

9. 一般名処方加算を算定している処方せんの割合 (階級別)

表 9 のとおり一般名処方加算を算定している処方せんの割合で最も多いのは、0%超 30%未満であり 121 病院 (31.3%) で 1.5 ポイント減少している。

表 9 一般名処方加算を算定している処方せんの割合 (階級別)

(単位:病院, %, ポイント)

	総数	割合						不明
		0%	0%超 30%未満	30%以上 50%未満	50%以上 70%未満	70%以上		
2018年度	387	64 (16.5)	121 (31.3)	37 (9.6)	48 (12.4)	61 (15.8)	56 (14.5)	
2017年度	375	98 (26.1)	123 (32.8)	27 (7.2)	37 (9.9)	45 (12.0)	45 (12.0)	
増減	12	-34 -9.6	-2 -1.5	10 2.4	11 2.5	16 3.8	11 2.5	

10. 注射処方せんによる取り揃え方法

表 10 のとおり注射処方せんによる取り揃え方法は、患者ごと取り揃え、一施用ごと取り揃えともに完全実施が最も多く、患者ごと取り揃えが 392 病院 (80.5%) で 3.2 ポイント減少、一施用ごと取り揃えが 269 病院 (55.6%) で 2.2 ポイント減少している。

表 10 注射処方せんによる取り揃え方法

(単位:病院, %, ポイント)

	患者ごと取り揃え							一施用ごと取り揃え						
	総数	完全実施	一部実施	未実施	その他	総数	完全実施	一部実施	未実施	その他				
2018年度	487	392 (80.5)	80 (16.4)	14 (2.9)	1 (0.2)	484	269 (55.6)	137 (28.3)	75 (15.5)	3 (0.6)				
2017年度	503	421 (83.7)	76 (15.1)	6 (1.2)	0 (0.0)	498	288 (57.8)	125 (25.1)	83 (16.7)	2 (0.4)				
増減	-16	-29 -3.2	4 1.3	8 1.7	1 0.2	-14	-19 -2.2	12 3.2	-8 -1.2	1 0.2				

11. 1 病院当たり無菌製剤処理料 1 か月平均算定件数、一般注射薬の混合調製

表 11 のとおり無菌製剤処理料 1 か月平均算定件数は、1 イ (180 点) が 66.9 件で 5.9 件増加、1 ロ (45 点) が 253.6 件で 29.1 件増加、2 (40 点) が 83.7 件で 5.1 件減少している。一般注射薬の混合調製 (薬剤師による) は、97 病院 (20.4%) で 1.1 ポイント減少している。

表 11 1 病院当たり無菌製剤処理料の 1 か月平均算定件数、一般注射薬の混合調製 (薬剤師による)

(単位:病院, %, ポイント)

	無菌製剤処理料の1か月平均算定件数						一般注射薬の混合調製 (薬剤師による)	
	総数		1 イ (180点)		1 ロ (45点)		総数	有
	総数	1 イ (180点)	総数	1 ロ (45点)	総数	2 (40点)		
2018年度	264	66.9	293	253.6	232	83.7	476	97 (20.4)
2017年度	283	61.0	322	224.5	260	88.8	493	106 (21.5)
増減	-19	5.9	-29	29.1	-28	-5.1	-17	-9 -1.1

12. 製剤業務

表 12 のとおり製剤業務は、滅菌製剤の調製が 302 病院 (61.6%) で 5.9 ポイント減少、非滅菌製剤の調製が 393 病院 (80.2%) で 2.7 ポイント減少、調製及び使用に関する指針が 352 病院 (71.7%) で 2.6 ポイント減少、倫理委員会での審査が 241 病院 (49.2%) で 0.2 ポイント増加、文書による患者への説明と同意が 215 病院 (44.1%) で 0.1 ポイント増加している。

表 12 1 病院当たり年間製剤業務実施件数

(単位:病院, %, ポイント)

	滅菌製剤の調製		非滅菌製剤の調製		調製及び使用に関する指針		倫理委員会での審査		文書による患者への説明と同意	
	総数	有	総数	有	総数	有	総数	有	総数	有
	2018年度	490	302 (61.6)	490	393 (80.2)	491	352 (71.7)	490	241 (49.2)	487
2017年度	504	340 (67.5)	503	417 (82.9)	502	373 (74.3)	500	245 (49.0)	500	220 (44.0)
増減	-14	-38 -5.9	-13	-24 -2.7	-11	-21 -2.6	-10	-4 0.2	-13	-5 0.1

1.3. 薬剤部門における薬物血中濃度モニタリング（TDM）業務

表 13 のとおり薬剤部門における薬物血中濃度モニタリング業務（TDM）は、薬剤師による血中濃度測定が 28 病院（5.8%）で 0.8 ポイント増加、薬剤師による解析・投与設計が 362（74.6%）で 1.9 ポイント増加、薬剤師による TDM オーダ権限が 48 病院（9.9%）で 2.1 ポイント増加している。

表 13 薬剤部門における薬物血中濃度モニタリング（TDM）業務

（単位：病院，%，ポイント）

	総数	薬剤師による 血中濃度測定		総数	薬剤師による 解析・投与設計		総数	薬剤師による TDMオーダ権限	
		有			有			有	
2018年度	484	28	(5.8)	485	362	(74.6)	484	48	(9.9)
2017年度	502	25	(5.0)	501	364	(72.7)	501	39	(7.8)
増減	-18	3	0.8	-16	-2	1.9	-17	9	2.1

1.4. 外来化学療法加算の算定

表 14 のとおり外来化学療法加算の算定は、加算 1 を算定が 270 病院（55.9%）で 2.2 ポイント減少、加算 2 を算定が 39 病院（8.1%）で 1.4 ポイント減少、無が 174 病院（36.0%）で 3.6 ポイント増加している。外来化学療法加算算定件数（1 か月平均）は、206.2 件で 7.1 件（3.6%）増加している。

表 14 外来化学療法加算の算定、外来化学療法加算算定件数（1 か月平均）

（単位：病院，%，件，ポイント）

	総数	算定			総数	外来化学療法 加算算定件数 (1か月平均)			
		加算1を算定	加算2を算定	無					
2018年度	483	270	(55.9)	39	(8.1)	174	(36.0)	290	206.2
2017年度	497	289	(58.1)	47	(9.5)	161	(32.4)	318	199.1
増減	-14	-19	-2.2	-8	-1.4	13	3.6	-28	7.1

1.5. 閉鎖式用具の使用

表 15 のとおり閉鎖式用具の使用は、304 病院（69.4%）で 0.4 ポイント増加、病床規模別にみると 100～199 床が 13 病院（13.3%）で最も増加している。

表 15 閉鎖式用具の使用

（単位：病院，%，ポイント）

	総数	2018年度		2017年度		増減			
		有		有		総数	有		
総数	438	304	(69.4)	455	314	(69.0)	-17	-10	0.4
一般病院	402	302	(75.1)	408	302	(74.0)	-6	0	1.1
20 ～ 99 (床)	60	15	(25.0)	57	13	(22.8)	3	2	2.2
100 ～ 199	79	43	(54.4)	73	30	(41.1)	6	13	13.3
200 ～ 299	59	47	(79.7)	54	45	(83.3)	5	2	-3.6
300 ～ 399	75	70	(93.3)	78	70	(89.7)	-3	0	3.6
400 ～ 499	52	51	(98.1)	59	57	(96.6)	-7	-6	1.5
500 ～	77	76	(98.7)	87	87	(100.0)	-10	-11	-1.3

16. 1 病院当たり1か月平均薬剤管理指導件数

表16のとおり1病院当たり1か月平均薬剤管理指導件数は、薬剤管理指導料1(380点)が190.0件で11.2件減少、薬剤管理指導料2(325点)が306.4件で1.7件増加、麻薬管理指導加算(50点)が17.9件で0.8件増加、退院時薬剤情報管理指導料(90点)が112.9件で13.2件増加している。

表16 1病院当たり1か月平均薬剤管理指導件数

(単位:病院, 件, %)

	2018年度		2017年度		増減			
	総数	薬剤管理指導料1(380点)	総数	薬剤管理指導料2(325点)	総数	麻薬管理指導加算(50点)	総数	退院時薬剤情報管理指導料(90点)
2018年度	407	190.0	407	306.4	335	17.9	377	112.9
2017年度	417	201.2	426	304.7	336	17.1	397	99.7
増減	-10	-11.2	-19	1.7	-1	0.8	-20	13.2

17. 持参薬への薬剤師の関与(与薬カートへのセット)

表17のとおり持参薬への薬剤師の関与(与薬カートへのセット)は、すべての病棟で実施が103病院(20.9%)で同ポイント、一部実施が101病院(20.5%)で0.2ポイント減少、行っていないが289病院(58.6%)で0.1ポイント増加している。

表17 持参薬への薬剤師の関与(与薬カートへのセット)

(単位:病院, %, ポイント)

	総数	2018年度						2017年度						
		すべての病棟で実施		一部実施		行っていない		すべての病棟で実施		一部実施		行っていない		
総数	493	103	(20.9)	101	(20.5)	289	(58.6)	508	106	(20.9)	105	(20.7)	297	(58.5)
一般病院	444	96	(21.6)	97	(21.8)	251	(56.5)	444	90	(20.3)	94	(21.2)	260	(58.6)
20 ~ 99 (床)	88	30	(34.1)	9	(10.2)	49	(55.7)	77	18	(23.4)	7	(9.1)	52	(67.5)
100 ~ 199	89	31	(34.8)	21	(23.6)	37	(41.6)	83	33	(39.8)	17	(20.5)	33	(39.8)
200 ~ 299	62	9	(14.5)	13	(21.0)	40	(64.5)	58	13	(22.4)	10	(17.2)	35	(60.3)
300 ~ 399	76	16	(21.1)	22	(28.9)	38	(50.0)	80	14	(17.5)	18	(22.5)	48	(60.0)
400 ~ 499	52	6	(11.5)	14	(26.9)	32	(61.5)	59	5	(8.5)	19	(32.2)	35	(59.3)
500 ~	77	4	(5.2)	18	(23.4)	55	(71.4)	87	7	(8.0)	23	(26.4)	57	(65.5)
		増減												
	総数	すべての病棟で実施		一部実施		行っていない		すべての病棟で実施		一部実施		行っていない		
総数	-15	-3	0.0	-4	-0.2	-8	0.1							
一般病院	0	6	1.3	3	0.6	-9	-2.1							
20 ~ 99 (床)	11	12	10.7	2	1.1	-3	-11.8							
100 ~ 199	6	-2	-5.0	4	3.1	4	1.8							
200 ~ 299	4	-4	-7.9	3	3.8	5	4.2							
300 ~ 399	-4	2	3.6	4	6.4	-10	-10.0							
400 ~ 499	-7	1	3.0	-5	-5.3	-3	2.2							
500 ~	-10	-3	-2.8	-5	-3.0	-2	5.9							

18. 持参薬の再利用

表 18 のとおり持参薬の再利用は、積極的に使用するが 252 病院 (51.0%) で 1.8 ポイント増加、診療科により対応が異なるが 150 病院 (30.4%) で 2.9 ポイント減少、できる限り使用しないが 63 病院 (12.8%) で 1.4 ポイント減少、その他が 29 病院 (5.9%) で 2.6 ポイント増加している。

表 18 持参薬の再利用

(単位:病院, %, ポイント)

	総数				
		積極的に使用する	診療科により対応が異なる	できる限り使用しない	その他
2018年度	494	252 (51.0)	150 (30.4)	63 (12.8)	29 (5.9)
2017年度	508	250 (49.2)	169 (33.3)	72 (14.2)	17 (3.3)
増減	-14	2 1.8	-19 -2.9	-9 -1.4	12 2.6

19. 在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定

表 19 のとおり在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定は、10 病院 (2.0%) で 1.8 ポイント減少している。

表 19 在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定

(単位:病院, %, ポイント)

	総数	算定	
2018年度	491	10 (2.0)	
2017年度	503	19 (3.8)	
増減	-12	-9 -1.8	

20. 病棟薬剤業務実施加算の算定 (予定)

表 20 のとおり病棟薬剤業務実施加算の算定は、2019 年度に加算 1 を算定開始 (予定を含む) が 45 病院 (15.6%) で最も多くなっている (算定予定なしを除く)。

表 20 病棟薬剤業務実施加算の算定 (予定)

(複数回答, 単位:病院, %, ポイント)

	総数					
		2019年度に加算1を算定開始 (予定を含む)	2019年度に加算2を算定開始 (予定を含む)	2020年度に加算1を算定予定	2020年度に加算2を算定予定	算定予定なし
2018年度	289	45 (15.6)	14 (4.8)	32 (11.1)	14 (4.8)	200 (69.2)
2017年度	-	44 (12.6)	29 (8.3)	-	-	195 (56.0)
増減	-	1 3.0	-15 -3.5	-	-	5 13.2

2.1. 集団患者指導への関与

表 21 のとおり集団患者指導への関与は、糖尿病が 275 病院（55.4%）で最も多い。

表 21 集団患者指導への関与

（複数回答，単位：病院，%，ポイント）

	総数	病種			
		糖尿病	腎臓病	肝臓病	心臓病(心臓リハビリ含む)
2018年度	496	275 (55.4)	54 (10.9)	24 (4.8)	46 (9.3)
2017年度	508	290 (57.1)	50 (9.8)	23 (4.5)	53 (10.4)
増減	-12	-15 -1.7	4 1.1	1 0.3	-7 -1.1
	総数(再掲)	生活習慣病(メタボ)			
		喘息	禁煙	生活習慣病(メタボ)	母親(両親)教室
2018年度	496	15 (3.0)	9 (1.8)	16 (3.2)	22 (4.4)
2017年度	508	26 (5.1)	18 (3.5)	12 (2.4)	27 (5.3)
増減	-12	-11 -2.1	-9 -1.7	4 0.8	-5 -0.9

2.2. 薬剤師のチーム医療への参加

表 22 のとおり薬剤師のチーム医療への参加については、医療安全対策チームが 483 病院(98.0%)で最も多く、次いで ICT が 452 病院 (92.1%) となっている。

表 22 薬剤師のチーム医療への参加

（単位：病院，%，ポイント）

	年度	総数	参加状況			
			参加している	参加していない	チームがない	その他
医療安全対策チーム	2018年度	493	483 (98.0)	6 (1.2)	4 (0.8)	0 (0.0)
	2017年度	505	503 (99.6)	1 (0.2)	1 (0.2)	0 (0.0)
	増減	-12	-20 -1.6	5 1.0	3 0.6	0 0.0
ICT	2018年度	491	452 (92.1)	5 (1.0)	33 (6.7)	1 (0.2)
	2017年度	503	476 (94.6)	6 (1.2)	21 (4.2)	0 (0.0)
	増減	-12	-24 -2.5	-1 -0.2	12 2.5	1 0.2
緩和ケアチーム	2018年度	491	270 (55.0)	8 (1.6)	211 (43.0)	2 (0.4)
	2017年度	503	295 (58.6)	15 (3.0)	191 (38.0)	2 (0.4)
	増減	-12	-25 -3.6	-7 -1.4	20 5.0	0 0.0
NST	2018年度	493	393 (79.7)	22 (4.5)	78 (15.8)	0 (0.0)
	2017年度	504	413 (81.9)	12 (2.4)	79 (15.7)	0 (0.0)
	増減	-11	-20 -2.2	10 2.1	-1 0.1	0 0.0
褥瘡対策チーム	2018年度	492	365 (74.2)	104 (21.1)	20 (4.1)	3 (0.6)
	2017年度	504	386 (76.6)	101 (20.0)	15 (3.0)	2 (0.4)
	増減	-12	-21 -2.4	3 1.1	5 1.1	1 0.2
糖尿病チーム	2018年度	488	236 (48.4)	25 (5.1)	227 (46.5)	0 (0.0)
	2017年度	501	267 (53.3)	22 (4.4)	212 (42.3)	0 (0.0)
	増減	-13	-31 -4.9	3 0.7	15 4.2	0 0.0
精神科リエゾンチーム	2018年度	487	36 (7.4)	43 (8.8)	405 (83.2)	3 (0.6)
	2017年度	499	44 (8.8)	39 (7.8)	415 (83.2)	1 (0.2)
	増減	-12	-8 -1.4	4 1.0	-10 0.0	2 0.4
呼吸ケアチーム	2018年度	487	33 (6.8)	103 (21.1)	350 (71.9)	1 (0.2)
	2017年度	499	32 (6.4)	115 (23.0)	350 (70.1)	2 (0.4)
	増減	-12	1 0.4	-12 -1.9	0 1.8	-1 -0.2
認知症ケアチーム	2018年度	486	129 (26.5)	82 (16.9)	271 (55.8)	4 (0.8)
	2017年度	499	123 (24.6)	74 (14.8)	295 (59.1)	7 (1.4)
	増減	-13	6 1.9	8 2.1	-24 -3.3	-3 -0.6

2.3.1 病院当たり認定実務実習指導薬剤師数、年間受入人数

表 23 のとおり 1 病院当たり認定実務実習指導薬剤師数が 3.5 人で 0.1 人増加、自施設完結実習が 5.3 人で増減なし、グループ実習が 5.9 人で 0.6 人減少している。

表 23 1 病院当たり認定実務実習指導薬剤師数、年間受入人数

(単位:病院, 人, %)

	総数	認定実務実習 指導薬剤師数	年間受入人数(薬学部5年生)			
			総数	自施設完結実習	総数	グループ実習
2018年度	344	3.5	242	5.3	36	5.9
2017年度	379	3.4	267	5.3	43	6.5
増減	-35	0.1	-25	0.0	-7	-0.6

2.4. 薬剤師の平日夜間、休日昼間、休日夜間の勤務体制

表 24-1 のとおり薬剤師の平日夜間の勤務体制は、最も多いのがオンコールで 136 病院(27.7%)、次いで宿直が 110 病院 (22.4%) となっている。

表 24-2 のとおり薬剤師の休日昼間の勤務体制は、最も多いのが日直であり 149 病院 (30.3%)、次いで勤務が 94 病院 (19.1%) となっている。

表 24-3 のとおり薬剤師の休日夜間の勤務体制は、最も多いのがオンコールであり 149 病院 (30.2%)、次いで宿直と夜間体制なしがそれぞれ 113 病院 (22.9%) となっている。

表 24-1 薬剤師の平日夜間の勤務体制

(単位:病院, %, ポイント)

	総数	勤務体制							
		勤務	勤務一部宿直	宿直	オンコール	居残り	夜間体制なし	その他	
2018年度	491	57 (11.6)	44 (9.0)	110 (22.4)	136 (27.7)	7 (1.4)	109 (22.2)	28 (5.7)	
2017年度	505	60 (11.9)	44 (8.7)	124 (24.6)	133 (26.3)	12 (2.4)	103 (20.4)	29 (5.7)	
増減	-14	-3 -0.3	0 0.3	-14 -2.2	3 1.4	-5 -1.0	6 1.8	-1 0.0	

表 24-2 薬剤師の休日昼間の勤務体制

(単位:病院, %, ポイント)

	総数	勤務体制						
		勤務	日直	半日日直	オンコール	休日体制なし	その他	
2018年度	492	94 (19.1)	149 (30.3)	27 (5.5)	89 (18.1)	83 (16.9)	50 (10.2)	
2017年度	504	91 (18.1)	180 (35.7)	28 (5.6)	81 (16.1)	84 (16.7)	40 (7.9)	
増減	-12	3 1.0	-31 -5.4	-1 -0.1	8 2.0	-1 0.2	10 2.3	

表 24-3 薬剤師の休日夜間の勤務体制

(単位:病院, %, ポイント)

	総数	勤務体制							
		勤務	勤務一部宿直	宿直	オンコール	居残り	夜間体制なし	その他	
2018年度	493	56 (11.4)	39 (7.9)	113 (22.9)	149 (30.2)	3 (0.6)	113 (22.9)	20 (4.1)	
2017年度	504	55 (10.9)	43 (8.5)	128 (25.4)	154 (30.6)	2 (0.4)	103 (20.4)	19 (3.8)	
増減	-11	1 0.5	-4 -0.6	-15 -2.5	-5 -0.4	1 0.2	10 2.5	1 0.3	

25. 治験の実施体制の担当組織

表 25 のとおり治験の実施体制の担当組織は、最も多いのが薬剤部門であり、107 病院 (22.3%) で 5.0 ポイント減少、次いで治験管理センターが 83 病院 (17.3%) で 0.1 ポイント減少している (なしを除く)。

表 25 治験実施体制の担当組織

(単位:病院, %, ポイント)

	総数				
		治験管理センター	薬剤部門	無	その他
2018年度	479	83 (17.3)	107 (22.3)	215 (44.9)	74 (15.4)
2017年度	499	87 (17.4)	136 (27.3)	204 (40.9)	72 (14.4)
増減	-20	-4 -0.1	-29 -5.0	11 4.0	2 1.0